



## 老头（老頭）

崔 伟 伟  
CUI WEIWEI

日本に来る前に先輩から聞きました。旭電器河芸工場に藪田さんと言う人がいます。実習生達は“老头”と呼んでいます。彼がいる限り私達は日本での生活を心配する必要がないですよ。何でも任せられます。とても優しく明るい人です。60歳になっていますが、“若い”おじいさんです。

日本に来た際に ELC 組合の先生や会社の従業員の方々などたくさんの人が私達を迎えてくれました。先生が私達に紹介してくれた中に“老头”がいました。

“老头”は背が高く、目が大きくて、お腹が丸くて、髪が白くて、若い時に絶対ハンサムだと思いました。“老头”は私達に“日本に来たからには日本のルール守らなければならない。守らない人は今すぐ帰国してください。”と言いました。藪田さんは優しくさうだと思っていましたがどこが優しいのでしょうか？ 厳しいです。

会社で勉強の時いろいろな“あかん”を言われました。ゴミ分別“あかん。”自転車の違反“あかん。”日本語の勉強しない“あかん。”カップラーメンばかり食べるのは“あかん。”本当に厳しい人でした。でもその気持ちが変わったのはあの日でした。ある日のこと私は腕を怪我しました。“老头”は私を病院に連れて行ってくれました。“病院へ行ったらすぐに治してくれます。怖くない。痛いなら休んだほうがいい。い

くらお金があっても健康でなくてはいけません”って。私のおじいさんのようにとても優しく面倒を見てくれます。その時優しい“老头”と感じました。

“老头”はとてもけちな人だと思いました。お金持ちにもかかわらず安い腕時計を10年以上使っていました。でも私達には全然けちではなかった。今考えると物を大切にすると感じました。また大根、スイカ、オレンジ等いろいろな食べ物をくれました。

私はいつも“老头”はどんな人か分かりませんでした。優しいのか？ 優しくないのか？ けちなのか？ けちじゃないのか？ 正しい答えはわかりません。でもそんな“老头”のことは忘れない。丸いお腹をさわって妊娠6ヶ月ぐらいかなと言った赤ちゃんの声を出してかわいい“老头”を忘れない。いつも三重弁を使い私達はそれを“藪田語”と呼んでいます。そんな“老头”忘れない。私ははじめて日本語N2試験を失敗して意気消沈な私を見て激励してくれた“老头”忘れない。先輩が自転車のライトをつけなくて怪我した時“老头”は叱りながら病院に連れて行ってくれた優しい“老头”を忘れない。いろんな出来事がはっきりと胸に刻んで絶対忘れない。

“老头”ずっとずっとお元気をお願いします。

P.S. おじいさんと呼んでは“あかん”とおこる。だから“老头”と呼んでいいか。

国	籍	中国
職	種	電子機器組立て
実習実施者		旭電器工業株式会社
監理団体		ELC事業協同組合